

第 40 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2009 年 11 月 21 日～23 日（金沢大学）
セッション討議内容の記録

セッション名：街路空間と交通	
日付：11月21日（土）曜日、セッション時間：13：15～14：45	
司会者名（所属）：元田良孝（岩手県立大学）	
討 議 内 容	<p>セッション全体：「52街路空間要素が自動車走行速度に与える影響に関する研究」、「53街路空間による自動車走行速度抑制の可能性」、「54通学路構成と物的空間構成要素が不審者出没に与える影響に関する研究」の3題が発表された。いずれも空間要素が自動車速度、不審者行動などの行動に関する変数に与える影響について分析したものである。速度を出させる要素としては道路幅員、中央線の形態などがあげられ、不審者の出没には駐車場や空き地の存在や学校からの距離があげられた。</p> <p>今後分析だけでなく、対策にどのように役立てるかを検討することが望まれる。</p>
	<p>（発表番号）発表者名（所属）：52 橋本成仁 岡山大学</p> <p>カーブなのかどうかなど道路の前後の状況による影響、いつも通る道なのか慣れによる違い、中央線の速度向上効果の理由は色なのか破線なのか、この結果をどう役立てるのか、黄色の中央線になると速度が速くなる理由、スピードガンの存在が速度に与える影響などの質問やコメントがあった。</p>
	<p>（発表番号）発表者名（所属）：53 吉城秀治 岡山大学</p> <p>発表番号52番との差の問題、自己申告する速度が主観的ではないか、提示した写真中の車両の影響、速度は各人ごとに基準となるが人の差を取ることが重要ではないのか、CG中の車の存在が回答に与える影響、裏通りの定義、シーンによる違いを見るのなら各回答者のあるシーンからの差分にした方が適当ではないかなどの質問やコメントがあった。</p>
	<p>（発表番号）発表者名（所属）：54 吾郷太寿 九州大学</p> <p>車が多いことが安全とされているが交通安全上では逆ではないか、不審者が出没しやすい通りのパターン、不審者の現地までの交通手段との関係、子ども110番の効果、通学路の指定方法、通学者の往復での経路の違いなどの質問やコメントがあった。</p>